

同友

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

やまがた

07
2013
JULY

山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



2013年 役員研修会開催

役員が語り部となり同友会らしい黒字企業を増やそう

食・農部会例会 エネルギー学習会

おらだもエネルギーしてみっか！

支部総会報告 Part2

さくらんぼ支部・山形支部

中小企業振興条例元年

魅力を集い、
共に歩もう！

役員が語り部となり同友会らしい黒字企業を増やそう



5月30日に4年ぶりの開催となる「2013年役員研修会」が、「激変の時代を乗り越える同友会型企業 ～強じんな企業を創る経営姿勢とは～」とのテーマで、愛知同友会代表理事でエイバックス(株) 代表取締役会長 加藤明彦氏を報告者としてお迎えし催されました。

加藤氏の報告は、自己紹介から始まりました。職人の息子として生まれ、一時は父より中卒で働くことを言い受けますが、何とか懇願し大学を卒業します。2代目として会社に入った時は社員が十数名の時、モータリゼーションの追い風もあり、間もなく三十数名までの社員数になりました。しかし会社の利益が上らず、給料や賞与が払えない状況が続き、結局社員が辞めていくということを20年間繰り返したそうです。

●労使見解に学ぶ



1993年に同友会に入り共同求人を開始。それと同時に1年間労使見解をみっちり勉強させられたそうです。

そして大卒社員を取り続けて8年目、やっと成果が見え出した矢先にリーマンショックで売上が激減。何とか危機的状況を持ち直しました。

今度のはトヨタのリコール問題。苦難を乗り越え経営状況が回復する兆しが見えた時に、東日本大震災で受注が3ヶ月無くなったそうです。それからタイの洪水で東南アジア系の生産がストップ、2年前には尖閣諸島問題で中国向け生産が全てストップしてしまいます。

しかしそんな中でも加藤社長は、給与・賞与はカットしなかったそうです。それは、労使見解に学んだこと、そして「経営者としての自分の能力はたいしたことはない、社員の一人ひとりの力が絶対必要」だという想いをブレさせなかったからです。今では「リーマンショックがなければ、現在ここまで

の売上が上がっていなかったと思う」と語る社長は、今季過去最高売上を更新中で、幾度ものピンチからチャンスを見いだした経験に深く学ばせて頂きました。

●人は育てるものではない

加藤社長は数々の危機的状況からの脱却を通じ、「思うように社員が動かないのは自分(社長)のせい」とし、「人は育てるものではなく、育つ環境を作ることで自主的に育つもの」と論じます。

更に「会社は必ずなくなる、だから事業領域をしっかりと押さえ、危機感を認識する為の外部情報をしっかりと取り、市場創造をすること」。そしてまた、「現在の社員は必ずいなくなる、だから順次後輩に伝え指導することで人材育成が成り立つ」とし、現状に甘んじることなく、この2つの危機感を持つことだと述べました。

●会社と同友会は不離一体

グループ討論は「同友会活動と経営が両輪になっていますか」のテーマで行われ、同友会の学びや気づきをどう自社に落とし込んでいるかを討論しました。

【アンケートより】

「同友会の役員活動の意義が、十分に語り合えました。」

「同友会で学んだことを、自社でどう活用するのか参考になった。」

「今後役員として、結果や行動で同友会活動と企業経営は両輪であることを、示していきたいと感じた。」

「会員はそれぞれに、経営課題や求める所が違っているとの考えに基づき、様々な気づきの場づくりが大切だと思いました。」

最後のまとめとして加藤社長は、「同友会らしい企業とは、労使見解に学び同友会らしい黒字企業を目指すこと。」と言います。なぜ経営指針が大切なのかを役員さんが「語り部」となり、「同友会で学んだ事により黒字になった」という会社を増やし、そして伝えていくことが大切だという言葉で締めくくりました。



おらだもエネルギーしてみっか！

6月6日、食・農部会主催で、「エネルギー学習会」を山形ビッグウイングで開催しました。

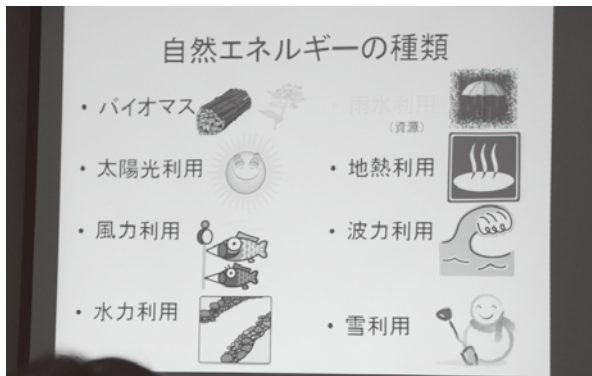
中小企業、農業の視点から「エネルギー」を捉えなおし、持続可能な地域づくりを考えようと今回の開催となりました。講師に、さくらんぼ支部会員で、山形県では、環境・自然エネルギー分野で活躍されている(株)ソーラーワールド 社長 武内賢二氏が、「おらだもエネルギーしてみっか！」と題して講演をしました。



山形は自然エネルギーの宝庫

エネルギーは、「国民が豊かに暮らすために、エネルギー量の確保、増やす計画は国策」と前置きしながらも、「自分たちが出来ることを考えていこう」と始まりました。

はじめに自然エネルギーを、世界平和(戦争・貧困)、電力供給(地球温暖化問題・雇用の創出)、生活スタイル(パーマカルチャー)の視点から捉え、再生可能エネルギーに自然エネルギーがあり、発電分野と熱利用分野がある。自然エネルギーには、バイオマス、太陽光、風力、水力、雨水、地熱、波力、雪があることなど、基本を教えてくださいました。山形県にはその資源が全部あることが特徴で、波力利用は山形県が全国で一番早かったといえます。



自然エネルギーがなぜ普及しないのか

地球温暖化が世界的な課題となり、環境問題としてスタートしたことや、コスト供給が不安定、気象が不向き、必要がないと思われていたことが、世界の中で日本が遅れている要因と指摘します。自動車のように商品と燃料が一致となり、大企業と切り離せないことも大きな課題です。

おらだも、エネルギーしてみっか！

5年前、農家の人が「おらだも、エネルギーしてみっか」の声から、第1次生産者がエネルギー産業の担い手とな

る、太陽光による発電所の取り組みが始まりました。昨年8月に、山形県発の太陽光発電全量買い取りの産直所がオープン。今年5月に東根市のさくらんぼ農家が「おひさまニコニコ発電所」をスタートさせました。

デンマークやオーストリア、ドイツの先進的な活動事例を紹介し、自然エネルギーを使用するために、新しいシステムが必要と強調します。私たちが使うエネルギーは、文化・文明と捉え、未来を考えて行動しようとまとめました。



食とエネルギーは第1次産業から

続いて、庄内でコメを生産する農事組合法人平良農園の佐藤良平氏が、「イナグラソーラー第一号」を設置するまでの取り組みを報告。現在の法律では規制がありすぎると問題提起をし、「20年後、子どもたちにお父さんは何故、何もしなかったのと言われたいためにも、今できることをやる」と発言しました。

2011年3月に千年に一度といわれる東日本大震災、原発事故を体験し、誰もが「エネルギー問題」と関わらずにはいられなくなりました。無関心でいることは無知につながります。

地球全体の未来を考え、持続可能な地域づくりをめざして、一人ひとりが声をあげ行動する時がきたことを胸に刻みました。

第19回さくらんぼ支部総会

決断しよう！ 「今、変わる時！」

去る5月22日に「第19回さくらんぼ支部総会」が、さくらんぼタクトクルセンターに於いて開催されました。



第1部の総会では、冒頭及川支部長が「さくらんぼ支部はここ5年ぐらいで大きくなってきた。19年とまだまだ若い支部ですが、皆様と一緒に学んでいきたい」と今年度の熱い想いを語り、「今、変わる時！」のスローガンのもと「会員間の交流を通し、発展・成長する企業づくりをめざす」、「元気な企業づくりを支えあえるさくらんぼ支部をめざす」を含む5つの方針を決定しました。また、支部役員には再任の及川支部長をはじめとする12名が選出されました。



第2部の記念講演では『「勝機を狙え！」～どうする金融円滑化終了後対策、どうなる消費税事前対策～』のテーマで、山形支部会員でもある(株)奥山経営センター 代表取締役 奥山享氏よりご講演頂きました。

奥山氏は1998年にデフレが始まり、「多くの業種の寡占化」「人口減少」「消費低迷」が起き「競合の時代から競争の時代になった」と問題提起し、「中小企業は生き残りではなく勝ち残り」「差別化が重要である」と導きます。そして、これらの経済情勢の中で「何を差別化するのかを経営者は決断しなくてはならない」、「決断する事とは知識の量、情報の量、自らの決断力を高めるために学びあおう」との気づきを頂きました。

最後に「儲けていますか、貯まっていますか、上手に使っていますか」、そして「儲けている人は人生が目的、経営は手段である。逆になっていませんか？」のメッセージに、奥山先生からの厳しさと愛情を込めた問いがありました。

懇親会には奥山先生にも参加して頂き、新年度に向けて盛大に盛り上がり、更なる飛躍の年を感じられました。

第27回山形支部総会

自ら進む道を信じて前へ！

5月23日、第27回山形支部総会が、山形国際ホテルに於いて開かれました。記念講演には、社員・ゲスト経営者も含め93名が会場に集いました。



第1部の総会では、2012年度活動報告が承認された後、2013年度役員選出が行われ、新支部長に伊藤尚彦氏、副支部長に浅野裕幸氏、阿部秀顕氏、堀孝浩氏、金田史生氏、加藤滋氏が決定しました。

そして伊藤新支部長が、「前へ」をスローガンとして、経営者に必要な能力を磨き、自社の環境をより整備するための例会の活性化と新たに研究会活動に取り組む組織づくりを盛り込んだ2013年度活動方針案を上程し、拍手で承認されました。

第2部の記念講では、創業62年の渋谷レックス(株) 渋谷



順子社長(福島同友会福島地区会長)が、「業務不振からの再生とは」と題して講演しました。

渋谷氏は菓子問屋の二代目に嫁ぎ、夫婦で事業を拡大してきました。バブル崩壊後も会社は伸びていましたが、

売上20億円を目前に、パチンコ店やスーパーの大型倒産に見舞われます。また社長であるご主人に癌が見つかり、社員の士気は一気に低下。売上が約11億円までダウンする中、ご主人が亡くなり三代目の社長に就任します。先行き

に不安を感じた社員は次々と会社を辞めていき、労働基準監督署に駆け込んだ社員もいました。

つらい毎日でしたが、「現在と未来のみ。過去は振り返らない」と決め、会社の再建に取り組みます。半端な手段では再建できないと考え、一番厳しい会計事務所に変え、一年間で使っていない重機などを処分し、使えない在庫や不良債権を処理しました。

そして、良くなると全てに願いを込めて社内を掃除し、自らの心を整えていきました。社員さんとは距離を置かないように心がけ、自らが料理をつくりパートさんと昼食会をしたり、営業の方とお酒を飲みかわしたり、コミュニケーションを大切にしてきました。また、お菓子の知識を身につけるための見学会や各種研修など、いいといわれることは何でも取り入れました。「人間性を高める」ために、苦しいけれども人材育成は将来への投資と思い取り組みました。8年が経過し、今期は15億円まで見えてきました。

渋谷氏は「理念と方向性を示しても会社はよくなる。一人一人の心にスイッチが入らない限り、形だけ整えても会社はよくなる」と言います。つらい時、よい言葉を集めた心のノートを見ながら「頑張っている」と自らを励まし、気持ちを整えて社員さんと接してきたことを紹介し、「2年間で93名が辞め、本当に大変でしたが、“明るく・元気に・のびのびと”を自らに言い聞かせてきました。これが天命で自分が与えられた役割。社員を大切にしながら会社をよくしようとやってきた。頑張ろう、変わろうとしない限り、業績は良くなる。人の心が全てを決める。すべてを失うと思っていたが、社員さんに給料も出せるし、家もある。今、感謝に変わりました」と語りました。



未来をひらく力を育もう

「第16回女性経営者全国交流会」に参加して

今年から毎年開催となった「第16回女性経営者全国交流会」が、6月13日から14日にわたって大阪で開かれました。全国から808名が参加、山形からも3名が参加。感想が届きましたので、紹介いたします。

(有)東住宅産業 常務取締役 白鳥明美

私が参加した第二分科会は「指針経営で全社一丸」と題し、静岡同友会の後藤社長の報告でした。先代から「女に社長は出来ない婿をとれ」と言われ、社長になるものの社長の方針は反対され、9割の外注先からはいらぬと言われ、やっとの思いで借金を返し、気付けば社員の気持ちはバラバラ…。そこで、同友会との出会い。経営指針を作り実践。納得し、同じ方向を見て仕事を進められるようになったとの報告でした。

グループ討論では、経営者に必要なものは、実行力と指導力。経営指針を持っている方が半分でしたが、指針を作ったことによって社員が辞めた方もいました。やはり経営指針を作り、どう共有していくのかに皆さん、悩まれている、社員の納得なくして共有は無いという話が出ました。人間らしく生きること。人として、関わることで、会社と社員の未来があるのではないかと、まとまりました。どんな小さなことでも、気かけ、声をかけ、関わり合いを

(株)菓子工房ココイズミヤ 代表取締役 庄司薫



女性経営者全国交流会に参加させていただき今年で2度目ですが、今回もたくさんの感動と出会いをいただき、女性経営者としてさらに課題が見えて来た2日間でした。

記念講演を頂いた南相馬の高橋さんの報告では、東日本大震災で一変した地域と人々の心。その再生にかける姿は想像を絶した想いと行動で、大きく胸を打たれました。そして心が震えました。早く子どもたちが未来を語れる福島に戻れるよう隣県の私達ももっと福島の現実を見て感じて、考えて行かなくては・・・と思いました。



持っていけるのが、女性経営者の特権なども出ました。

記念講演は、福島同友会の相双地区会長の高橋社長のお話しでした。震災後、相双地区で同友会の会員企業の倒産、廃業はなく、みなさん素晴らしい経営をされているようでした。震災後、勤めていた方が避難して戻らなくなったり、前に勤めていた方が復帰されたりと、いろいろな人間模様を話してくださいました。社員向けに作成した「ありがとうのDVD」の上映には、みんな涙しました。会社は従業員に支えられていると強く感じました。

私が、今年もこうして参加出来たのも、家族を始め、従業員さんがいてくれるからこそです。日々、感謝を忘れず、守って行こうと強く思いました。

それと、青森大会で知り合った方とも再会しました。この大森さんは、私が指針を受ける時に後押しして下さった方です。こんな出会いがあるのが、同友会、女性経営者全国交流会です。来年は、くまもの熊本です。

私の参加した第7分科会は、奈良、京都、大阪の女性部の取り組みと3人の経営者の報告でした。「私が変わります!! 受け継いだバトン・未来へのバトン」の題名の如く、物の見方と考え方が変わり、自分がいかに変わり会社が変わって行ったか・・・そこに家族を持ち、妻として、母としての話も織り込まれ、率直にわかりやすく女性の視点と立場からのお話でした。

3人の共通点は経営指針書の作成がそのターニングポイントとなり、学びと実践と繋がりが未来へのバトンにつながるということで、そこは会場内にたくさんいらした男性の方々も共感できたところだと思いました。

今回の大会のタイトルになった「未来をひらく力を育みます」は大阪女性部の理念の一部だそうで、女性部の理念を作る大阪女性部の歴史と本質を学ぼうとする本気度には感銘いたしました。微力ながら山形女性部も経営指針書作成発表会を通して、学びと実践と繋がりが出来てきています。私は女性部の先輩方に育てられ、真の優しさにふれ、今まで学んで来られたと感謝しております。これからも女性の視点で学び合いながら輪を広げてゆきたいと思いました。

第2回理事会報告

◆日時:2013年6月11日(火)16:00~18:45 ◆会場:同友会事務局 ◆議長:青柳副代表理事
◆出席:青柳、浅野、阿部(和)、安藤、伊藤、及川、齋藤、佐藤(一)、佐藤(松)、島貫、白鳥、長澤、中村、若木、川合相談役、事務局:伊藤、矢作、高橋(18名)

青柳副代表理事が議長を務め、安藤代表理事の挨拶で始まりました。

安藤代表理事は、「理事会は同友会では総会に次ぐ決議機関です。皆様には活発な意見を出して頂きたい。会員の代表であることに自覚を持ち、決意と信念でより良い討議をして頂きたい」との挨拶で始まりまして。

■報告事項

- 1) 中小企業憲章キックオフ集会(6/3)の報告(齋藤理事)
衆議院第二会館にて開催。参加数146名。国会決議をめざし、国会議員の方に同友会意見として申し上げた。
- 2) 中同協第4回幹事会報告(安藤代表理事が代理報告)
各同友会に「中同協定時総会議案書」への意見の要請があり、今回はe.doyu電子会議室に意見を出すことになった。
- 3) 委員会・部会報告
○社員共有委員会(阿部理事):メンタルヘルス学習会(7/10)の案内。
○経営指針委員会(青柳副代表理事):5/25に開催された第4講(財務に関する講義)について報告。
○政策委員会(齋藤理事):飯豊町役場への訪問、山大との連携講座、6/9陸前高田の被災地訪問をし、八木澤商店河野社長の講義を報告。
○女性部会(白鳥理事):5/21第一回女性部例会について報告。
○食・農部会(伊藤事務局長):第1回例会エネルギー学習会の報告。
- 4) 5月月次決算報告 伊藤事務局長より会費未納状況と合わせて報告。

■承認事項(入・退会承認) 1名入会1名退会

6/11現在会員数 395名

■討議事項

議題1:役員研修会のまとめ

中村副代表理事より、各支部の参加状況と今回の成果と課題について報告があった。愛知同友会の加藤代表理事の報告、グループ討論から学んだことを企業経営にどう生かしていくかが課題とまとめた。※来年の役員研修会では、中同協定時総会議案書の学習時間を設ける事を確認。

議題2:中小企業憲章推進月間の取り組みの件

齋藤理事より取り組み状況が報告され、参加動員の依頼があり、支部、各委員会で声掛けをしていくことを確認しました。6月の開催時期が次回課題となった。

議題3:2013年度組織活動について

中村副代表理事より、「増」「強」の活動の説明があり、常任理事

会では「退会者を0に」を目標に挙げたと説明し、同友会DVDの活用と支部単位で「企業変革支援プログラム」活用の提案があり可決された。各支部の活動について、支部長より報告があった。

議題4:事務局賞与査定について

青柳副代表理事より提案があり、査定することを決定し、情報収集をしながらやれるところからやり、進捗を次回の理事会で上程することが決定した。

議題5:事務局業務改善について

伊藤事務局長より、業務内容と課題、事務局役割分担の説明があり、事務局業務改善(第1案)が提案された。

支部幹事会と委員会までe.doyu使用率100%にすることが決定し、例会出席確認業務は、各支部でやることを目標に、周知期間を設け、報告してから実行することが決定。また、支部例会企画書の提案があり、置賜支部が前向きに検討、他支部で取り入れることが可決されました。

■追加議論 青柳副代表理事

月2回のラジオ番組の出演を会員さんによるリレー方式が提案され承認され、e.doyuで出演者を募集することが決定。

■その他

- ①第16回女性経営者全国交流会
(6/13~14 大阪):白鳥 庄司 事務局矢作
- ②北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会・代表者会議
(6/27~28 会津)8名参加
- ③「全国総会 in 宮崎(7/11~12)」の参加:安藤 金田 事務局
- ④“食と農”連携グループ全国交流会inとから
(7/19~20)について3名予定。
- ⑤次回理事会

●日時:7月10日(水)15:00~17:00 ●会場:同友会事務局

■閉会挨拶 (中村副代表理事)

アベノミクスってどうなのかと感じています。外部環境に負けなようにがんばって頂きたいと思います。次回は全支部の理事さんが出席していただけることをお願いします。



新会員 紹介

◎小川 栄一氏
(有)プラス電子 代表
業種 電子機器組立
置賜支部

From Editor

★先日、机の引き出しを片付けていたら、手紙の束のなかに今は亡き父からの手紙が出てきました。進学、就職、結婚と節目の時に綴られた懐かしい手紙。心配と励ましとそばにいる母の想いも伝わるような親心がしたためられていました。自分の言葉をちゃんと相手に届けたい。遠く離れた家族や友人、先輩や恩師へと何十通と書いてきました。そして、相手からの返信の手紙が何よりも楽しみでした。★携帯電話が中心になり、家の固定電話が何かのセールス以外に鳴らなくなりました。そして、ポストに親しい手紙が届くこともなくなり、私自身、季節の絵葉書を書くぐらいで、手紙を書くことが少なくなりました。いや、なくなりましたといっているいいで

しょう。携帯かパソコンメールで済ませています。★一人から一人へという手紙の文化はいつからなくなったのでしょうか。今、SNS(ツイッター、FB)が主流となり、不特定多数から不特定多数へ、差出人も受取人もはっきりしないコミュニケーション様式の時代になってきています。★本来、コミュニケーションは地味で難しいものですが、丁寧に紡いでいくことに価値があると思っています。手紙の言葉は人生をさざむものであり、なくしたくないものです。今年、一番嬉しい手紙は娘からの手紙でした。母になった娘が、親になって初めての誕生日に「生んでくれてありがとう」と生まれてきた我が子への感謝の気持ちも綴られていました。(由)

7月支部例会案内

・どの支部の例会にも参加できます。
・月に一度は参加しましょう。



山形支部

「研究会」プレゼンテーション&ビアパーティー

2013.7.16 (火) PM6:00～

場所:パレスグランデール

山形市荒橋町1-17-40 ☎023-633-3313

参加費:5,000円

伊藤新支部長体制になつての新しい取り組み「研究会」。その研究会とはどういうものなのか、そして3つのテーマに分かれた各研究会活動の内容をプレゼンテーション致します。この研究会は山形支部の全員が所属となりますので、今回は是非ご参加いただきまして、より学びに繋がる研究会を選んで頂きたいと思います。また、同時に毎回好評をいただいております「ビアパーティー」を開催します。暑さを吹き飛ばし、悩みを吹き飛ばし、同友会メンバー同士が語り合える良い機会かと思ひます。ゲスト参加も大歓迎でございますので、是非お知り合いの方お誘いあわせの上、奮つてのご参加をお願い致します。



庄内支部

今すぐできる強い企業づくり【Part1】

～自社の強み(ライバルと比べて)を活かして～

2013.7.17 (水) PM6:30～

場所:鶴岡市総合保険福祉センター「にこ♡ふる」

鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

講師:有奥山経営センター 代表取締役 奥山 享氏

参加費:2,000円(2回分)

今は大競争時代、自社の現状を分析し、強みを見つける事は必須条件と言えます。またその強みを社員さんと共有し、認識を一致しておりますか。7月例会は奥山享税理士(山形支部)を講師に迎え、今年度の方針「1、時代の変化に負けない力強い企業づくり」と「2、明日から実践する例会づくり」を踏まえ、自社の強みと弱み、外部環境と内部環境の現状をつかむべく(SWOT分析を通し)社員さんと一緒に学んでいきます。7月・8月と継続してじっくり学びあう例会です、自社を科学的に分析し、利益の出せる戦略と行動レベルまでに落とし込みたいと思います。お知り合いの経営者の方、社員さんをお誘いあわせの上、ご参加ください。



置賜支部

大競争時代に対応できる企業づくり

～利益が出せる貸借対照表のつくり方～

2013.7.23 (火) PM6:00～

場所:伝国の社

米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8000

講師:有奥山経営センター 代表取締役 奥山 享氏

アベノ・ミクスによって日本は元気になるのか?消費税増税は、経営にどう影響をもたらすのか?先行きの見えにくい経済状況の中でも経営者には経営を維持・発展させていく責任があります。

今年度の支部スローガン「環境の変化に対応できる強い企業」を目指すため、置賜支部では奥山享税理士を講師に迎え、しっかりと現状認識を行い、大競争時代を勝ち残るための戦略を学び合います。第2回目となる今回は「利益が出せる貸借対照表のつくり方」がサブテーマです。

お誘い合わせの上、ご参加ください



さくらんぼ支部

社員は道具だった?!

～「社員は経費」から、共に歩むパートナーへ～

2013.7.24 (水) PM6:30～

場所:さくらんぼタクトクルセンター 2階 栄養指導室

東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者:株東北テレネット 代表取締役 長瀬洋一氏

“会社は俺のためにある!”と創業した長瀬社長。聞き覚えのある経営者の皆さんも多いのでは!?

そんな長瀬社長が二度に渡る自身の壮絶な体験を経て、今では“すべては未来の会社を担ってくれる社員のために”と奮闘中です。昨年、第17期経営指針作成セミナーを受講し、社員のために「経営指針書」を新たに作成。また社員共育委員会にも積極的に参加し“学びの実践”を体現している長瀬社長の報告から、社員さんとの“任せる、頼れる関係づくり”を学び合ひましょう。長瀬社長、気合が入っています!ヨロシク!!



寒河江支部

例会づくりを学ぶ「ビアパーティー」

2013.7.25 (木) PM7:00～

場所:Food Barびーしゃいん

寒河江市本町2-1-37 ☎0237-85-5354

参加費:3,500円

今年度寒河江支部では、「会員全員でつくる例会」をめざして、グループ単位で例会運営を行う活動をスタートしました。7月例会では、例会の意義、役割、運営について語り合いながら会員間の交流を図る「ビアパーティー」を開催いたします。

顔を合わせれば、声を掛け合える仲間がいます。冷たいビールをお供に、大いに語り合い、明日への種を持ち帰りましょう。ゲスト参加も大歓迎!お誘いあわせの上、ご参加ください。

同友やまがた7月号(2013年7月1日発行/通巻244号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:<http://yamagata.doyu.jp/> E-mail:info@yamagata-doyu.jp